

県退教協だより NO.75

長崎県退職教職員等連絡協議会

長崎市筑後町二一 教育文化会館

☎〇九五―八二二―五一九五

戦争をさせない・9条を壊すな!

憲法違反の閣議決定を撤回させよう!!
辺野古への基地建設を許さないぞ!!
戦争をさせない1000人委員会 9.4院内集会



落合恵子さん



神田香織さん



小室哲哉さん



雨宮処凜さん



9月4日、「戦争をさせない1000人委員会」は、参議院で院内集会を開き、高良鉄美琉球大学教授の「集団的自衛権と沖縄」の講演がありました。講演で、現在も基地の島になっている沖縄を「千代に八千代にさざれ石の巖となりて苔のむすまで」にするつもりか、と怒りを込めて訴えました。



9.4総がかり行動
日比谷野外音楽堂に5500人集まる!

司会の神田香織さんは講師で、各地で特定秘密保護法や集団的自衛権批判の講演をしています。この会場でも歯切れの鋭い口調で進行しました。

発言者は、落合恵子、小室哲也(ギターと歌も含め)、雨宮処凜、社民党吉田党首たちが集団的自衛権の危険性、日本国憲法と自衛権行使、ワーキングプア等について熱弁をふるいました。日退教も関東ブロック各単会からの参加者と共に参加し、シユプレヒコールをしながら東京駅までデモをしました。

9月14・15日、高齢者集会開催

9月14日は日本教育会館で地公三単産(日教組・自治労・全水道)地公退高齢者集会が行われました。その中で、「私たちは、政府・与党の暴走を阻止し、国民の生活を守り抜くため、連合・退職者連合に結集し、現退一致で取り組みを進める。」との基調報告が提起されました。

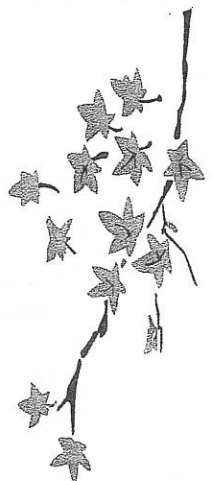


日比谷公会堂前で

15日は、日比谷公会堂で退職者連合主催の全国高齢者集会があり、東日本大震災を風化させない、特定秘密保護法・集団的自衛権行使・武器輸出拡大・靖国神社の参拝反対など政治課題、社会保障関係要求実現、低所得高齢単身女性問題、地域組織の確立と強化等の基調報告がありました。

日退教：連帯カンパのお願い

会員各位のカンパで、今年度は福島朝鮮初中級学校、沖縄・辺野古、高江、戦争をさせない諸行動に支出します。今年度も、きわめて重要な取り組みですので、趣旨をご理解のうえ、積極的な取り組みをお願いします。



〔活動報告〕

『ななかま』の絆を深めて

長崎県退女教・大東支部

〔福田 弘子〕

・大東支部は、会員数九四名です。平均年齢は、七七歳。ご多分にもれず、高齢者集団です。
九四名の会員ですが、定例会などに出席できる会員は、大体六〇%ぐらいです。

・地区別に、東彼地区と大村三地区（北・中・南）に分けて、活動しています。全体会は、四月の総会と七月の学習会です。

今年の学習会では、「認知症予防の音楽療法」を学習しました。
一月は、会食をしながら、和気あいあいの懇親会。地区別に「だしもの」をしました。
三月は、全体の反省会です。

・大東支部では、退女教の日を第三月曜日と位置づけ、各地区で、地区別に年間計画を立てて活動しています。
それぞれの、地区会の内容は、年に四回発行する「退女教だより」で、紹介しています。

参考までに、昨年度の地区会の活動報告をご覧ください。ななかまと絆を深め、いろんな情報の交換の場となっています。

【今後の課題】

年々実質的な会員数が減少しています。理由は、高齢化によるのは勿論ですが、老親の介護や孫のお世話などによる会員の退会があります。
役員も選出も年々困難になっています。

このように、将来への「会」の存続の見通しは良くありませんが、これまで団結して運動してきた「ななかま」の集まりとして、手をつないで工夫しながら、一層の団結を深めていきたいと考えています。

月日	北地区	中地区	南地区	月日	東彼地区
				4. 1	年間計画の話合い 連絡網の確認
5. 30	年間計画の話合い	年間計画の話合い 歓迎会	年間計画の話合い 7月学習会について	5. 6 5. 30	すべり出し食事会 年間計画の確認
6. 17	「山本二三展」へ	年間計画の確認 ペン立て作り (6. 17)	野外活動 食事会 (青雲荘) 話合い	6. 3 6. 17	日帰り旅行について 親睦会について 「山本二三展」へ 食事会 (一カ)
				8. 5	介護について話合う セコムの人話を聴く
9. 30	三地区合同会	野岳義太夫会館	交流会	9. 2	趣味の会
10. 21	鷹島へ参拝、見学	歌、踊り 男女合同参画推進 センター	コスモス見学 (野岳)	10. 1 10. 21	退女教の活動、展望 について 歌 懇親会の準備 (当番として)
				11. 11	懇親会の準備 歌
12. 16	千支作り (折り紙)	日帰り旅行 (長崎)	介護予防教室	12. 2 12. 16	懇親会の反省 (当番 として) 生活実態調査アンケ ートについて話合う 忘年会
1. 24	新年会 (花月)	役員改選 新年会	新年会 (きぶん)	1. 20	新年会 (新年を迎え て談話)
2. 17	年間反省 役員選出	3月の全体会に向 けての反省	今年度の反省	2. 3 2. 17	県議案書の総括 東彼地区及び大東支 部行事の反省
				3. 3	反省会 役員選出

【活動報告】

宿根 昔草（しくこんそう）

雑草の たくましさ

退教協長崎支部・第一六班・班長

醉虎（こと・青木 英夫）

◆長崎支部員は、ただ今、169名。

「教え子を戦場へ送るな」の、私たちの不滅のスローガンは、安倍内閣の壊憲的「集団的自衛権行使容認の閣議決定」に脅かされている。

このまゝ座視はできない。今こそ退教協の「行動」が求められている時はない。

私たちは、西彼退教・退女教と一緒に九の日の座り込み（平和祈念像前）の後、浜の町アーケード通りで「平和ウォーク」を行い、市民に平和の危機を訴え続けて、すでに、一八回を数える。

十一月九日には、「⑪・⑨集团的自衛権行使反対・憲法改悪阻止行動」へ長崎・西彼退職教職員（会）の横断幕（工受4曲）を掲げながら、デモンストレーションと、座り込みやピラ配布を実施した。

◆私は八月七日に、ひとりで自宅近くの道路の除草に汗を流した。三川川沿いの狭い道で、バスは通らないが、朝夕の交通量は多い。道の両側に夏草が繁茂すると、いよいよ狭くなる。そこで、毎年草刈りをしていく。「そんなことしたって、誰も認めてくれない」と妻は言うが、自分が毎日そこを通って、焼酎を買いに行く道だから、

不言実行、人知らずして恨まずだ。今年は作業中に、五百円玉を拾った。神様はちゃんと見ておられる。

◆雑草の中にも可憐な花を咲かせるものもある。私が好きなのは、ツユ草の花やカラスウリの花。前者はコバルト・ブルーの清らかな花だが、朝露のように朝だけの花だ。カラスウリの花は夜、開花する。白い魅力的な花だが、この花を知る人は多くはないだろう。この二つの花を写真に撮り、歌を作った。

「争乱の絶えざる星の片隅に
今朝ツユ草はひっそりと咲く」

ある女性写真家が中東の内乱を取材中に流弾で死亡したという記事の中に、彼女がツユ草の花が好きだったと書かれていたのをよんで詠んだ歌だ。

「夜開く花は老いわれを魅了せり
妖しくほほえむ美女のごとくに」

その名前はさえないが、ヘクソカズラの花もかわい。

◆そんな愛すべき雑草ばかりではない。一番の厄介者が茅（カヤ）。いわゆるススキやヨモギなどの宿根草だ。刈り取っても何日か後には、すぐ芽を出す。だから、根から掘り出さなければ根絶できない。一メートル以上の高さまで悠々と伸びはびこった夏草の除去に、汗を流しながら考えた。

人間の世の中にも、宿根草のような人間や組織、集団がある。それらは、いかなる攻撃や弾圧にも屈することなく宿根草の根のように、したたかに生きのびる。信仰や信念を命がけで貫いた人、弾圧や妨害にも負けずに主義や思想を守りぬいた人たちもい

る。

しかし、今日の日本のように爛熟して目的があいまいで価値観も複雑な社会になると、宿根草の根まで枯らす農業のような毒性の強い政治・行政によって、真の民主主義や平和という根も、民衆の美しい人間性という根も、枯れてしまいつつあるのではいか……。

◆北川冬彦の「雑草」という詩が作られた自由にものが言えない暗い時代（昭和一年〜一六年）のようにならぬかと危惧するそれが老人の杞憂ならよいのだが……。

雑草 昔草

北川冬彦

雑草が あたり構はず
延び放題に延びている。

この景色は胸のすく思ひだ、
人に踏まれたりしていたのが
いつの間にか

人の膝を没するほどに伸びている
ところによつては
人の姿を見失うほど

深いところがあつた。

この景色は胸のすく思ひだ、
伸び蔓（ほび）れるときは

どしどし延び広がるがいい。
そして見栄えはしなくとも

豊かな花をどっさり咲かせることだ。

戦争に向かつてつき進む重苦しい時代背景を考えると、この詩がよく理解できる。

◆老人の 杞憂を歌にしてみた。

この国の平和とう古き石垣の
基が半ば崩るる音す（醉虎）

2014年11月9日「反核九の日」座り込み第394回 250人参加



ヨカ余暇生き生きコーナー (35)

上五島の教会群を 描いています

県退教協五島支部 柘田重忠

教会堂は平和のシンボル

丘、あるいは山の中腹に二十九もの
 教会堂が点在している。信者達が
 「御堂」と呼ぶ祈りの場である。
 私には去年の夏頃から、小さな集落
 に不似合いな一見西洋風のこれら教
 会堂を訪ね、エンピツ淡彩のスケッ
 チを始めた。

江戸時代の末期、西彼杵半島外海
 地方の潜伏キリシタンは信仰の安住
 の地を求め、競って五島に移住を
 求めてきた。だが、平穏な暮らしは
 変える。長崎浦上のキリシタンが捕
 られる。諸藩に送られる。浦上四
 番崩れが起った。弾圧は五島の
 各地にも及び、「五島崩れ」が始まる
 ことにもなる。明治元年、五島のあ
 りこちに入る。拷問を受け、後ろ手
 牢に縛られ、三角の算木の上に乗せ
 られ、さら板石を膝の上に乗せ
 られる。鉄杖で激しくたたかれる。多
 量の水を無理やり飲まされる。子ど

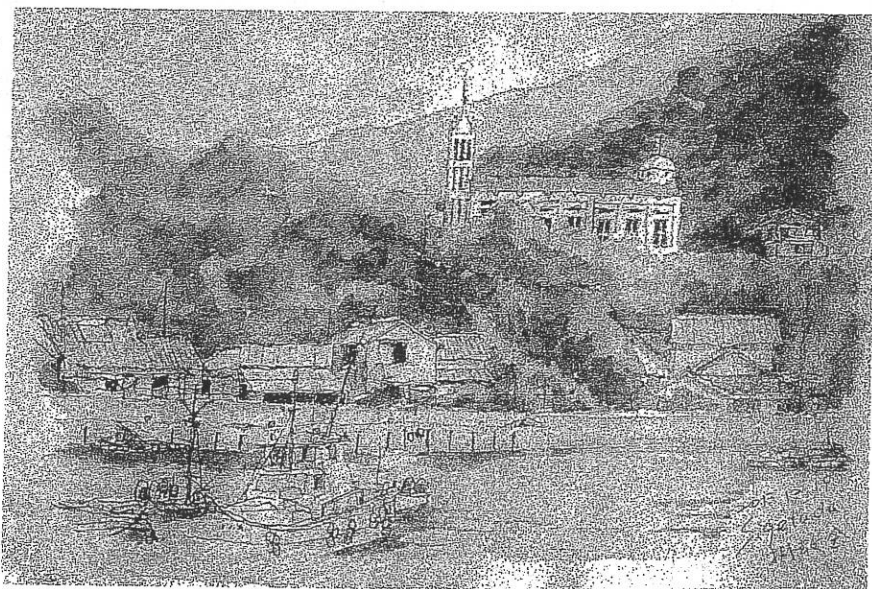
もを責めて親に改宗を迫る……。近
 隣の仏教徒たちまでもが押し寄せ、
 リンチを加えた。

明治六年、キリシタン禁制の高札
 がおろされ、以後五島の信者達は宣
 教師の指導の下にカトリック信者と
 して今日に至っている。カトリック
 信者となっても、けっして経済的に
 恵まれることもなく、子どもも多く、
 貧しかった。しかし、信仰のシンボ
 ルとしての教会堂を建てるとなれば、
 漁や農耕の合間に木や石材を運び、
 惜しみなく浄財をはたいた。

大小二十九の教会堂は、厳しい迫
 りでも耐え、信仰を守り伝えてきた。誇
 りの石の重しを見るにつけ、算木責
 めの石の重しを見るにつけ、差別を
 生み出す社会の仕組みや、何らの疑
 念もなく差別に突き動かされる人間
 の恐ろしさを思う。一方で、教会間
 の平和の嵐の中で、信者達は武器を
 迫害の戦った。この苦しみ耐え、手
 に祈った。この苦しみ耐え、手
 をくださった。この苦しみ耐え、手
 与えていた。この苦しみ耐え、手
 いと。殉教による多くの犠牲はあつ
 たが、「信教の自由」を非暴力という
 平和の方法で勝ち取った。

どの教会堂を訪ねても常に扉に鍵
 はかかっている。堂内に入つて祭
 壇を見上げる。静かな時が流れ、ス

テンドグラスから差し込んでくる柔
 らかい光に包まれ癒される。そして
 一時ではあっても、心の平和を確か
 に感じる事ができる。



桐教会 波静かな若松瀬戸の丘に建つ。
 建物の前には、五島に教えを広めたガ
 スパル与作の像や算木責めの石がある。

日本の民主主義が危ない

松田郁夫

元朝日新聞記者が勤める大学へ脅迫文が届き、警察が捜査を進めている。朝日新聞は10月1日付で元記者の勤務先の大学に脅迫文が相次いで届いたことを報じた。朝日、毎日、読売、産経も社説で取り上げ、厳しく批判した。朝日は2日付の社説で「大学への脅迫で、暴力は許さない」、産経は2日付の社説で「大学に脅迫文、言論封じのテロを許すな」と題した。「主張」を掲載。毎日には3日付の社説で「大学への脅迫看過できない卑劣さ」で、「一部の雑誌やネット上に広がる異論を認めない不寛容な空気がある」と指摘。「ヘイトスピーチ」(憎悪表現)にも相通じる現象だ」とした。読売も3日付で「大行へ脅迫」と題する社説を掲載した。朝日新聞は8月、過去の慰安婦報道について、新聞は8月、過去の慰安婦報道をした吉田清治氏(故人)に関する記事を取り消した。元記者が務める帝塚山学院大の北星学園大には5月と7月、それぞれ9月の退職を要求し、応じなければ危害を加えるという趣旨の脅迫文が届いた。警察が威力業務妨害の疑いで調べている。

遭つてもらおう。釘を入れたガス爆弾を爆発させる。「元記者を辞めさせなければ天誅として学生を痛めつける」、北星学園大には、「爆弾を仕掛ける」という内容の電話もあったという。さらには家族までもがネット上に顔写真や実名をさらされ、「自殺するまで追い込むしかない」「日本から出て行く」「などと書き込まれた。学生を「人質」にする考えを持ち、相手や自分と異なる考えを持つ者を力づくで排除しようとする、卑劣な行いを見過ごすわけにはいかない。このようなことを放任してはいけません。民主主義社会の土台が掘り崩されてしまう。また、国連人種差別撤廃委員会は8月29日、日本政府に対して、「ヘイトスピーチ問題に「毅然と対処」することなどを勧告する「最終見解」を公表し、日本に包括的な人種差別禁止法がないことを問題視し、制定を促した。ネットや雑誌には「反日」「売国奴」「国賊」などの言葉が平然と躍つてい。また、「デモの参加者が「出てこい、殺すぞ」などと叫ぶ様子が流れ、ヘイトスピーチが拡散している状況に懸念を表明。「ネットを含めたメディア上で、のヘイトスピーチをなくすために適切な措置をとること」などを求めた。官僚や政治家に対しては、適正な制裁をおこなうことを追求していくことなども求めた。

状況に法的拘束力はないが、日本の後約70年の状況を注目している。戦

の民主主義は暴力によって、崩壊させられてしまおう。暴力に屈せず、民主主義を守らなくては。

編集後記

◆9月20日土井たか子さんが肺炎のため、兵庫県の病院内で亡くなりました。初護憲勢力のリーダー的存在で、女性主党首を務められ、享年85歳でした。護憲に人生をかけた土井さんの逝去。それは、特定秘密保護法の施行が12月10日に迫り、集団的自衛権の行使を認め、安倍政権が改憲への地ならしを進める時代の転換期に重なった。◆「憲法を守るため、憲法を生かすために本当に身を粉にして尽くした人生だ」と。福島の偉大な政治家だったと、土井さんの死を惜しんだ。28日、記者団に土井さんの死を悼む。◆憲法改正を宿願とする安倍晋三首相は、率超える。自民党は、衆院で過半数を大きく野党も含めれば、憲法改正の発議に必要な3分の2以上に手が届く勢いだ。◆これに対し、土井さんが所属した。民党は衆院でも立ってない。◆分れた社民党の流れをくむ民主党的な海江田万里代表は、「土井氏が主張した女性の権利や平和の問題はしっかりと受け継ぐ」と語っているが、